

女川町まちづくり ワーキンググループ 瓦版

第4号

女川町まちづくりワーキンググループの内容をお知らせします

第4回女川町まちづくりワーキンググループが 開催されました！

第3回ワーキンググループ（以下、「WG」）で決定した各グループの検討テーマにもとづいて、今回はグループごとにそれぞれテーマ設定を行い、それに関する課題や改善事項について検討を行いました。

グループごとに異なったテーマで話し合いをした結果、検討方法やそのとりまとめにもそれぞれ特色が現れ、有意義なグループワークを実施することができました。

開催概要は以下のとおりです。



第4回 ワーキンググループ 開催概要

- 日時:平成24年8月9日(木)
18:45~20:45
- 場所:女川町総合体育館
2階剣道場
- 参加者:36名

第4回WGのグループワークは、下記検討手順を参考に、グループごとに検討方法を工夫して行いました。今回選択したテーマについて課題や改善策、提案内容等を考えたあとは、グループごとに新たなテーマを設定し、改めて課題等を整理していきます。
各グループの検討結果は裏面をご覧ください。

《検討手順(参考)》

- ① 第3回WGで導いた検討テーマから、今回話し合うテーマを決定する。
- ② ①で決定した検討テーマについて、課題や問題点を整理する。
- ③ ②で出された課題や問題点について、どのように改善するか検討する。
- ④ 提言として提案する案をまとめる。
- ⑤ 継続的に実施する仕組みを考える。
- ⑥ ①に戻って別のテーマを設定し、同様に検討する。

※①~⑤を、1つのテーマにつき2回程度のWGでとりまとめる。

● 当日のプログラム ●

- 1 説明
- 2 グループワーク
 - ・ 前回のおさらい
 - ・ グループ毎に前回設定したテーマについて検討
- 3 まとめ



● 各グループの検討結果 ●

各グループの今回の検討テーマと主な検討内容は、以下のとおりです。

公共施設・街並み

検討テーマ：公共施設の整備に おける課題

【これまでの問題点】

- 鉄道（駅）は便数が少なく、学生以外の利用はあまりなかった
- 駐車場がなかった

【今後必要なもの】

- 集客力のある施設
- 女川の改修
- 子供たちが水と親しむ空間
- 高台のネットワーク

《宿題》

今までの公共施設がどのような利用をされていて、どのような課題があったのかについて考える

（⇒どこに何を配置したらよいか次回

観光・商業（A）

検討テーマ：自然とスポーツ

【自然について】

～滞在型、体験型の観光として考えられるコンテンツ～

- 三十三観音間のハイキング
- シーカヤック、ウィンドサーフィン
- ミヤマクワガタの里
- 海水浴場（砂浜の整備）
- ダイビング
⇒ガイドや企画者など人材育成が必要

【スポーツについて】

- スポーツ地区を設ける
- スポーツ合宿を誘致する
- 高飛び込み用プールを整備する（ダイビングライセンス取得用も兼ねる）

観光・商業（B）

検討テーマ：自然を活かした観光

【現状における課題】

- イベント以外に人が来ない
- 観光に回遊性がない
- 自然を活かした観光施設がない（自然を活かす考えに至らなかった）
- 道路の整備が十分でない

【自然を活かした観光のあり方】

- 定住化と観光客が呼べるようにする
- 地区ごとの自然を活かした観光（清水地区の川、小乗の海 など）
- 回遊性を持たせたゾーニング
- 万石浦の景観を活かす
- 体験型施設の特徴を活かした観光（スキューバダイビング、クルーズ）
- スポーツゾーンの集約

漁業・水産加工

検討テーマ：情報発信方法

【課題】

- 放射能の問題で、漁業・水産加工は大打撃を受けている。
⇒どのように安全性をPRするか、自分達で何ができるかを考える

【解決策】

- ありのままの情報を発信する
- 「水産物の情報」、「まちの情報」、「イベント情報」について、それぞれ「商品情報」、「取組情報」、「安全性の確認情報」を発信する。
- 「取組情報」として、復興の過程を発信し、復興をPRする。
- 女川独自の「認証マーク」により、安全性をPRする。
⇒担い手の人材が足りない
⇒人材の発掘・育成も必要

教育・育児

検討テーマ：公園

【課題】

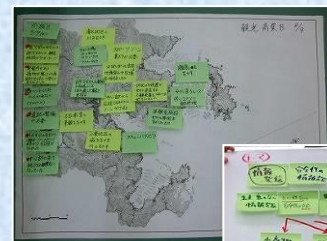
- 安全に遊べる場所がない
- 中心部にほとんど公園がない

【必要なもの】

- ①防災機能を持った公園
 - 高台に整備して避難場所にする
 - 備蓄倉庫を設ける
- ②街中に公園を配置
 - 住宅数などに応じて計画的に配置する
 - 小さいもの、芝生だけでもよい
- ③親水公園
 - 水辺に直結させる
 - 観光機能を持たせる

福祉・コミュニティ・交通

参加人数の関係で、今回は「教育・育児グループ」に混ざって検討しました。検討結果は左記「教育・育児グループ」の検討結果を参照してください。



第4回ワーキンググループのまとめ

今回から具体的な検討に入り、意見がたくさん出ましたが、どのグループも工夫を凝らしながら整理することができました。次回も引き続き、今回設定したテーマについて議論を進めます（今回のテーマが検討し終えたグループは別のテーマを設定して議論します）。